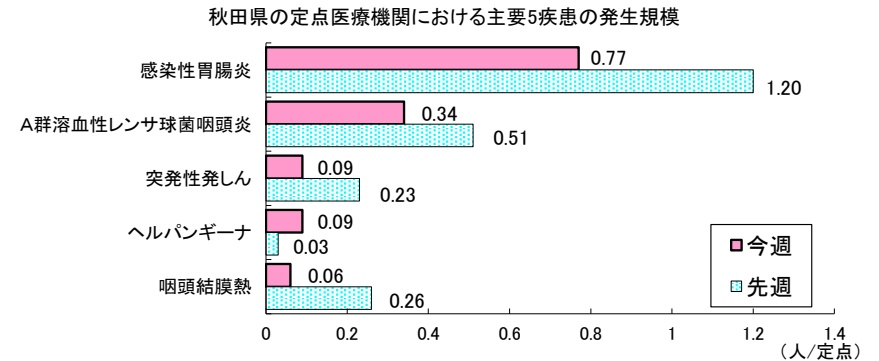




【第53週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で36%減少しています。保健所別では、大館、秋田中央で増加、秋田市、北秋田、能代、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で33%減少しています。保健所別では、能代、由利本荘で増加、秋田市で同規模、大館、秋田中央、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で61%減少しています。保健所別では、能代で増加、大館で同規模、秋田市、由利本荘、湯沢で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第52週	第53週	増減	第52週	第53週	増減	第52週	第53週	増減	第52週	第53週	増減	第52週	第53週	増減	第52週	第53週	増減	第52週	第53週	増減	第52週	第53週	増減	第52週	第53週	増減			
RSウイルス感染症																														
インフルエンザ		0.02	↗		0.09	↗																								
咽頭結膜熱	0.26	0.06	↘	0.57	0.14	↘												0.75	0.25	↘				0.50		↘				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.51	0.34	↘	1.00	1.00		0.25		↘					0.33	↗	1.25	0.75	↘		0.25	↗	0.50		↘	0.33		↘			
感染性胃腸炎	1.20	0.77	↘	1.86	0.86	↘	1.50	2.75	↗	2.50		↘	2.33	1.00	↘	1.25	1.50	↗				0.50	0.25	↘	0.67		↘			
水痘	0.34	0.06	↘				3.00		↘										0.25	↗						0.25	↗			
手足口病	0.06	0.03	↘	0.29		↘													0.25	↗										
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.23	0.09	↘	0.57	0.14	↘	0.25	0.25						0.33	↗				0.25		↘					0.50		↘		
ヘルパンギーナ	0.03	0.09	↗		0.29	↗																0.25	0.25							
流行性耳下腺炎	0.06		↘															0.50		↘										
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*								*	*				
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が能代保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が大仙保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から4人、大館保健所管内から1人、能代保健所管内から17人、由利本荘保健所管内から1人、横手保健所管内から1人報告されました。

<全数把握疾患> (人)

類型	疾患名	1週-52週		53週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	16964	88	2
	ジフテリア			
二類	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	1		
	細菌性赤痢	86		
	腸管出血性大腸菌感染症	3044	98	
	腸チフス	21		
	パラチフス	7		
	E型肝炎	441	2	
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	118		
	エキノкокクス症	22		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	15		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病	1		
	コクシジオイデス症	6		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	78		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	タニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-52週		53週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	491	8	
	デング熱	45		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	420		
	日本脳炎	5		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	4		
	マラリア	20		
	野兔病			
	ライム病	26		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	2013	14		
レプトスピラ症	16			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	606		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	242	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1890	18	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	32		
	急性脳炎	477	4	
	クリプトスポリジウム症	6		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	148	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	744	4	
	後天性免疫不全症候群	1072	2	
	ジアルジア症	26		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	248		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	14		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1606	13	1
	水痘(入院例に限る)	356	8	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	5729	79	1
	播種性クリプトコックス症	147	2	
	破傷風	104	1	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	133	1	
百日咳	2928	10		
風しん	100			
麻しん	13			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	10			
指定	新型コロナウイルス感染症	125	24	

トピック

<呼吸器感染症ウイルスの検出状況について>

秋田県健康環境センターでは、感染症法に基づいた感染症発生動向調査事業の一環として県内でのような病原体が流行しているかを調査(病原体定点観測調査)しています。呼吸器感染症を引き起こすウイルスに関しては、代表的な10種類について検索しています。

■呼吸器感染症ウイルスの検出状況

現在のところ、例年冬季に流行するインフルエンザウイルスやRSウイルスは検出されていませんが、風邪の原因ウイルスであるライノウイルスや季節性コロナウイルス※が多く検出されています(図)。どちらのウイルスも感染した場合、通常はのどの痛み・咳・鼻水・鼻づまりといった軽い風邪の症状で治まりますが、喘息等の基礎疾患を持つ人は重症化することがありますので注意が必要です。

※ヒトコロナウイルスには、新型コロナウイルス以外に、従来から一般的な風邪の原因ウイルスとして知られてきた4種類の季節性コロナウイルス(NL63型、OC43型、HKU1型、229E型)と、重篤な肺炎を引き起こすSARS(重症急性呼吸器症候群)やMARS(中東呼吸器症候群)の病原体ウイルスがあります。

■対策について

- ・手洗い等の日常的な予防対策をしっかりと行いましょう。
- ・バランスよく栄養を取る、十分な睡眠をとるなど、日常生活における体調管理をしっかりと行いましょう。

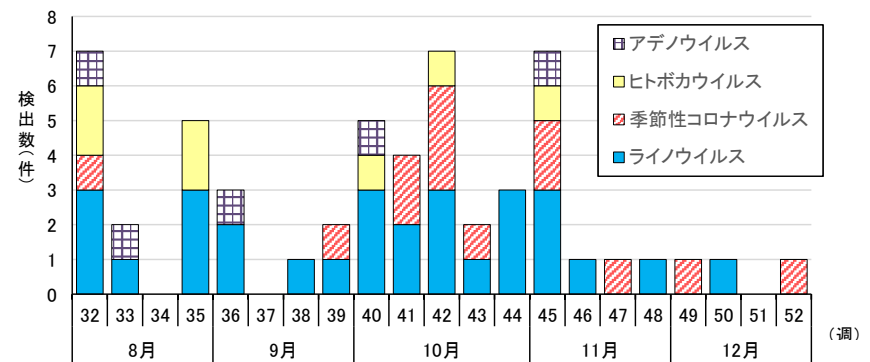


図 県内における呼吸器ウイルスの検出数(2021年1月6日現在)



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所（発生規模）	保健所（発生規模）
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある（終息していない）ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		